

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおよ 徹

発行日 2012年1月 【第9号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

年頭にあたって 2012

穏やかな天候に恵まれ、新たな年を希望に満ち、元気一杯で迎えられたことと存じます。昨年は、皆様のご支援により初当選することができ、日々藤沢市議会議員として力強く活動させていただいております。心より感謝申し上げます。

年が明けた元旦、鳥島近海を震源とする M7.0 の地震が発生し、神奈川でも震度 4 を記録しました。今年こそは「地震や災害のない年であって欲しい」という思いを強くした元旦でもありました。正月恒例の箱根駅伝では、東洋大学が大会新記録で総合優勝。5区「山の神」柏原選手につながるときには、既にトップを快走、全選手が力を出しての優勝に、自分も力をもらった気がしました。ただ残念なのは、母校の日本大学が出場できなかったこと。来年は本戦に出場できることを切に願います。



本年は、議員・議会が身近な存在になるための議会活動報告『貫徹通信』の議会毎の発行と「ホームページの充実」「より公正で透明な行政運営と真に公的責任が果たせる行財政改革や議会改革の推進」「勤労者や社会的に弱い立場の人の視点に立った活動」「私に寄せられている市政の課題解決に向けて全力で取り組むこと」などを目標に、精一杯努力していきます。

本年も、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

12月議会の主な内容

12月定例市議会は、11月28日から12月14日の日程で開催されました。主な内容は、工事請負契約の変更契約締結（辻堂駅南口デッキ新設工事）・藤沢市暴力団排除条例の制定・藤沢市地方卸売市場業務条例の廃止・12月補正予算等でした。私は、市側提出議案について、必要性を認め賛成し、全て可決されました。

また、今議会では、藤沢市善行の私有地を不自然な経緯で取得した問題に係る「百条委員会」の中間報告や、その他、新聞報道された案件（旧江ノ島水族館跡地の土地取得問題、公用車の公務外使用及び市長後援会の金銭問題等）について説明がされました。

【一般質問】

今議会においては、「公契約条例」「公立保育所の方向性」「消防力の整備」について、一般質問を行いました。

①公契約条例の条例制定に前進！

〈公契約条例〉自治体が入札等により、委託契約を行う際に、受注者がダンピング等を行った場合、その多くのしわ寄せが労働者の賃金引き下げとなることから、様々な要素を総合的に判断する「総合評価方式」や「最低制限価格制度」「低入札価格調査制度」を組み合わせることにより、賃金等の労働条件確保をめざした制度を言う。

〈要旨〉

公契約条例は、官製ワーキングプアをなくすためにも必要であり、6月議会においても質問を行い、「既に条例化した自治体の実施状況を十分に検証し、検討を進めていく」との答弁を得ている。また、近隣の相模原市でも、この12月議会で条例制定することが決まっている。

藤沢市としても、積極的に公契約条例を制定すべきと考え、次のとおり質問しました。

【質問】

公契約条例について、この間の検討状況と今後の方向性について、市の見解を伺いたい。

【答弁】

本市としては、この間、先行自治体の実施状況及びその影響を検証してきたが、引き続き、条例化に伴う課題解決を図るため、国の動向を注視し、相模原市等の状況を検証した上で、条例化に向けて検討を進めていく。

【意見】

条例制定に向けて、さらに踏み出したものと認識する。

②公立保育園の方向性を確認

〈要旨〉

本市には、公立保育園が16園、法人立保育園が23園あり、公民連携による保育所運営を行ってきたと言えるが、今後とも公立保育所は一定数以上必要であると考え、公立保育所のあり方について、質問を行いました。

【質問】

公立保育所の役割と責任について、市の見解を伺いたい。

【答弁】

藤沢市保育所整備計画では、「地域子育て支援ネットワーク」を構築・機能させるため、市内を4つに区分し、それぞれの区域に核となる基幹保育所を設けることになっている。基幹保育所については、多面的な視野で保育計画や子育て支援施策の企画・実践を行うことができる公立保育所が担っていくものと考えている。

【質問】

公立保育所は、一定数以上必要であると考え、理事者の見解を伺いたい。

【答弁】

公立保育所と法人立保育所が連携・協力し、それぞれが責任と役割を担っていくことが必要。公立保育園については、最低でも10ヶ所以上必要であると考え。

【意見】

今後も、公立と法人立が連携を図りながら、保育に欠ける子を出さないよう、また、待機児童の解消に向けて、

努力をしていく必要があると考える。

③遠藤地区における救急隊配備に向けて

〈要旨〉

北部方面の消防力の整備については、平成23年の2月議会において、「北部方面消防力強化整備計画」を策定し、計画的に整備を進めるとの答弁がされて以降、明確な整備方針が定まらないままとなっていたため、市民の安全・安心を担保する観点からも、早期に整備をすべきと考え、質問を行いました。

【質問】

北部方面消防力強化整備計画について、進捗状況を伺いたい。

【答弁】

整備計画では、現行の六会出張所は、耐用年数に余裕があり、耐震性も確保されているので、当面、現施設を活用していく。北消防署は、移転・再編を検討してきたが、湘南台地区は、北部方面の中心的役割を担い、消防救急需要も高いことから、当面、現施設を活用していく。遠藤方面出張所については、都市化の進展、人口増加、救急実績などから、消防施設の早期整備が必要である。将来の消防施設の整備を踏まえ、当面は、利用率の高い救急隊を新総合計画に基づき配置していく。

【意見】

遠藤地区の消防施設については、早期に整備すべきと考える。

百条委員会中間報告

～土地取得は不当と判断～

12月14日、12月議会の最終日に、善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査について、特別調査委員会（百条委員会）の中間報告が示され、厳しい判断が下されました。中間報告のポイントは次のとおりです。

【土地の取得について】

この土地の取得については、前提となる善行地区内住民の総意がなかったこと、取得の必要性・緊急性も見当たらず、取得ありきで進められた案件でもある。更に、事業計画の検討などを一切行わないまま、土地の取得が性急に進められた。以上のことから、百条委員会としては、この土地の取得は不当であったと判断する。

【取得価格について】

この土地は、先行取得にあたって、不動産鑑定評価を実施したが、鑑定士の証言からこの土地への進入路がないことについて十分な確認をしないで鑑定を行った結果、1億850万円という価格で購入することとなった。一方、議員有志で行った鑑定評価によれば、4,250万円という評価額も算出されている。このように、この土地の売買価格や鑑定評価額には、大きな開きがあるため、百条委員会としては改めて、この土地の不動産鑑定評価を実施し、取得価格の妥当性について、継続して検討していく。

【告発について】

証人喚問の結果、多くの証人が、真実を述べる事を宣誓しているにもかかわらず、証人間において証言が大きい

く相違するなど、矛盾点が多く見受けられた。このような状況は極めて遺憾であり、百条委員会としては、告発も視野に入れ、厳格に対処していかなければならない。従って、市長をはじめとする一部の職員などの証言には、偽証に当たる可能性がある部分もあることから、地方自治法第100条第9項の規定による告発に該当するかどうか、慎重に調査を進めていく必要がある。

【おおや徹の考え】

今回の土地取得の件について、私は、理事者が政策・政治判断で決めること自体は、悪いことではないと思います。しかし、十分に事業計画などを検討した上で、取得すべきだったと思います。今までの藤沢市では、そういったことが、できていたと思います。これは、行き過ぎたトップダウンによる行政運営により、市の幹部が、理事者に対して物が言えない組織になっていることが、大きな要因であると考えます。そして、多くの職員が、証人喚問に出頭するなど、巻き込まれていることを、非常に残念に思います。

（ご意見いただきました）

先日、「市長に疑念がある、市長の名前が出るのは、金銭に絡むことが多い」「藤沢市の職員の勤務態度は、横浜市や茅ヶ崎市より見劣りしている」「職員や議員は、給料を国民からもらっていることについて、認識が不足しているのではないか」とのご意見をいただきました。

私は、市長の金銭に絡む報道等については、事実関係は分かりませんが、疑問を持たざるを得ないと考えます。また、職員の勤務態度については、どのような状況での事なのかは分かりませんが、市民への接遇に課題のあるケースがあったのかも知れません。職員は、市民の立場に立って、誠実に対応することが大切だと考えます。

給料に係る認識ですが、職員は給料が税金であることは、研修の中で徹底されています。重要なのは、お預かりした税金を、コスト意識を持って使うことだと思います。しかし、どれだけの議員が、報酬が税金であるとの認識を持っているかは分かりません。私は、議会開催中ではもとより、閉会中も議員がどのような活動をしているかを、市民の皆さんに報告する事が大切だと思います。議員は、市民と行政のパイプ役であり、市民の要望や意見を幅広く受ける活動を行うことが重要な役割です。これからも役割を果たしていると言われるように、努力をしていきたいと思っております。